

## ステンレス製品の焼け取り加工

加工前



加工後（電解表面処理）



### ★ ステンレス製品の焼け取り加工について ★

- ▼ 弊社にステンレス製品をご注文頂いた場合、溶接したところは溶接焼けが生じるため、仕上げに焼け取り加工を施すことを推奨しています。
- ▼ 溶接焼けした部分は見た目が悪だけでなく、溶接時の熱によってステンレス表面の不動態被膜が破壊された状態になっています。それにより、ステンレスが本来持つ耐食性（錆びにくい性質）が損なわれてしまいます。
- ▼ 焼け取り加工の方法として、弊社では「物理的に削る自由研削法（バフ研磨）」と「化学的に研磨する電解表面処理」を使用しており、製品の構造や用途に応じてその都度選択しています。中でも、電解表面処理は、焼け跡を除去して光沢を与えるだけでなく、不動態被膜も形成できるため、製品に応じて効果的に利用しています。  
ウェザーカバーのような屋外で使用される製品の仕上げとして最適ですね。

不動態被膜は、ステンレス鋼の表面にある耐食性を有する薄い膜のことです。

有馬